

とやま県プラ



とやま県プラ

富山県プラスチック工業会

(富山技術交流センター内)
〒930-0866 富山市尾田529番地
TEL (076)442-0309 FAX (076)442-0310
URL <http://www.kenpla.jp> E-mail info@kenpla.jp

CONTENTS

- 2 定期総会
- 3 産学連携
- 4 シリーズ海外経済・断片
- 6 シリーズプラスチック業界：提言
- 7 技術委員会レポート
- 8 総務委員会レポート
- 9 研修講習事業報告
- 10 座談会
- 14 会員広場
- 15 団体等事業情報
- 16 概況調査
- 17 共創

富山県プラスチック工業会

2008.8 No.23

第47回

通常総会開催



総会・笠井会長挨拶

総会審議

第47回通常総会は6月4日(水)午後3時30分から富山第一ホテルにおいて開催された。はじめに笠井会長より開会の挨拶のあと、議長を笠井会長に選出して議案審議に入った。

議案は第1号議案「平成19年度事業報告の件」

第2号議案「平成19年度収支決算報告・監査報告の件」

第3号議案「平成20年度事業計画(案)の件」

第4号議案「平成20年度収支予算(案)」

を諮った結果、原案通り可決承認され、総会審議が終了した。

20年度事業計画ではプラスチック加工技術研究の拠点づくりへの産学官連携、次代経営人材と技能人材育成事業の推進、研究開発事例発表会、ものづくりを通じた地域貢献、産学技術研究支援等を計画している。

記念講演

総会終了後、第2部として、富山県立大学学長の田中正人氏より「富山県立大学の産学交流」と題して記念講演があった。

講演には、当会役員、会員の他、県内の大学や諸団体の代表も含め40名余りが出席し、田中学長の産学連携への意気込みを熱心に聴講した。



田中学長講演

懇親会

引き続き第3部として懇親会が開催され、はじめに笠井会長の開会挨拶があった。

このあと、斉藤富山県商工労働部長が県内プラスチック業界の果たす役割に期待する祝辞があり、乾杯のあと歓談に移り宴は各円卓を囲み賑々しく相互親睦を深め合うなか富山プラスチック協会斉藤会長の中締めで盛会裡におひらきした。



懇談

富山県立大学 田中学長 講演会 開催

“県内ものづくり産業高度化へ共同研究等産学連携を強調”



平成20年6月4日の当会定期総会終了後、記念講演として富山県立大学学長 田中正人氏より、「富山県立大学の産学交流」と題して講演が行われた。

田中学長は2004年東京大学大学院(工学系研究科)を退官、2007年に富山県立大学学長に就任されましたが専門分野の機械工学、とりわけ回転機械の振動や軸受のトライボロジーの権威であり、日本機械学会副会長等、各種学会の役員に就任されて広く機械工学の振興発展に貢献されておられます。

当会としても今後、大学におけるプラスチック研究の産学推進を図ることとしており、今般の田中学長の講演は良い契機になったともいえます。

講演では

- ・ものづくりの課題・環境破壊・21世紀のものづくり→環境調和型経済活動への転換
- ・産学の望ましい連携→ものづくりの全段階において基礎研究が必要ならば学が積極的に関与すること。新しい発想の実現、複雑な現象の解明には基礎研究が必要。
- ・富山県立大学地域連携センターの活動実績が紹介され、年々、産学連携の充実、増加傾向を示している。今後共、県内産業との連携による成果が期待される。

	H 17	H 18	H 19
来学受付	564社・883名	822社・1172名	974社・2353名
企業訪問	286件	407件	405件
技術相談	220件	333件	334件
共同研究	40件・2818万円	41件・4013万円	46件・3659万円
受託研究	9件・4406万円	26件・9964万円	36件・1億6365万円
奨励寄付金	74件・4778万円	98件・6496万円	79件・4991万円
卒論修論課題採択		26件	21件

富山県立大学研究協力会

「富山県立大学研究協力会」は、県立大学との産学連携を推進し、地域経済の活性化に寄与することを目的に設立

設立：平成16年4月26日

会員数：249会員(2008.5現在)

(法人：224、個人：25)

会長：田中一郎

田中精密工業(株) 代表取締役社長

産業界による大学支援組織としては日本海側最大



最近の中国進出日系企業の動向について

北陸銀行

上海駐在員事務所長 中条 宏志 氏



1. 上海の日系企業

中国に事業展開している日系企業は18,000社を超えているといわれている。そのうち上海には4,000社余りの日系企業が進出している。一地域に進出している日系企業としてはもちろん数の上では世界一である。業種も様々で上海日本商工クラブには、2,100社もの会員が入会しており、業種により金融・保険、繊維・パルプ、電機、商社・流通など12もの部会からなりたつ一大組織となっている。

ちなみに我々地方銀行業界はというと、29もの銀行が拠点を構えている。ただし、すべての地方銀行は当地では銀行業務は行わず、情報収集などの事務所機能のみである。参考までに邦人の長期滞在者数も約5万人に達しており、香港はもちろんニューヨークをも超えてしまった。

2. 投資環境の変化

今年になって、中国における日系企業を取り巻く投資環境が激変している。

主なものを挙げてみると、

- 企業所得税率の内外資統一（外資企業への優遇税制の廃止）
- 労働契約法の施行
- 加工貿易への規制強化

などである。これらの政策の背景に共通してあるのは、中国政府が、「高付加価値を生む外資系企業のみ

を歓迎する」という意図である。1980年代に第一次中国進出ブームとして注目された広東省の深圳や東莞などの地域には、製靴・玩具製造など労働集約的な軽工業の工場が密集しているが、この地域特有の来料加工形態の規制強化の動きも加わり、昨今韓国、台湾企業などを中心にこの業種で撤退する企業が増加しているのは事実である。また韓国企業が多い山東省の縫製工場のなかには退職金などの精算コストを回避するため、夜逃げする輩も頻出している状況にあるという。しかしながら、このような一部の動きがげげさにマスコミに報道され、多くの日系企業も中国から撤退しているかのようなイメージを与えているのは、好ましくない無責任な報道である。

また、日系企業にとっては金融環境もこれまで経験したことがないほど厳しいものとなっている。つまり、世界的なエネルギーのコストアップインフレは中国にも多大な影響を与えているが、もともと熱銭（ホットマネー）と呼ばれる投機資金が海外から中国に入り込み過剰流動性によるインフレ懸念の素地があったことで、中国でも昨年末からCPI上昇率が7~8%と高止まりしている。中国政府の現在の政策優先度はインフレを抑えることが最上位にあるため、金利の引き上げ、銀行貸出の窓口規制、人民元切り上げの容認、など企業経営にとっても厳しい政策をとらざるを得ない状況なのである。

3. 日系企業の対応

このように述べると中国の日系企業は八方ふさがりのような印象を受けるかもしれないが、現地の日本人は投資資金回収のため試行錯誤を重ねながらたくましく活動している。上海には日系企業向けコンサルタントが多数存在しているが、これだけ投資環境が変化するとセミナーネタにも困らないようで、企業の担当者も足繁くセミナーに出席し、情報収集している。弊行も、上海で取引先向けにセミナーを定期的に開催しているが、毎回多くの出席者に恵まれ、セミナー後の懇親会も毎回盛況である。

中国では「中央に政策あれば地方に対策有り」とたびたびいわれるように、政策が変更になっても地方によって運用が異なることが多く、やってみなければわからないということが多々ある。そんなときには、日本人社会の横の繋がりが役立つことが多い。

前述の投資環境の変化に対して日系企業の対応で共通しているのは、中国国内向け販売を増強する戦略をとっていることである。これは、人民元の切り上

げにより、中国からの輸出採算の目減りが避けられないことや、日本で縮小したパイを中国で増強せざるを得ないといった実情があるためである。中国国内販売を増やすためには、営業、財務などの優秀な人材を確保することも必要であり、これまで以上にリスク管理の徹底が求められるのは日本と同様である。

4. 終わりに

我々銀行の事務所としても、日系企業のこのような厳しいビジネス環境を目の当たりにして、微力ながらサポートさせていただいている。サポート業務の一つとして、毎年他の地方銀行と共同でビジネスマッチング商談会を開催している。出展いただいたお取引先に中国のローカルサプライヤーを紹介するいわゆる逆見本市である。今年で4回目となった7月の商談会でも多数の出展企業、来場者に恵まれ、お陰様で盛況に終わった。今後とも地道な情報収集でお取引先をはじめとした日系企業のお役に立ちたいと考えている。



商談会風景

ISO 13001 JACOB JAB
高陵プラスチック工業株式会社
〒933-0824 高岡市西藤平蔵字内川原1312
TEL(0766)63-5656(代)
FAX(0766)63-5658

SAITO
Plastics Molding / Package & Parts
株式会社 齊藤製作所
富山県富山市下大久保61 〒939-2251
☎(076)468-2727 FAX(076)468-3911

三光合成株式会社
SANKO GOSEI LTD.
〒939-1698 富山県南砺市土生新1200
1200 HABUSHIN NANTO CITY TOYAMA 939-1698 JAPAN
TEL 0763-52-1000 FAX 0763-52-1925
http://www.sankogosei.co.jp/

ESIS Ecology エコロジー Impact インパクト
Saving セロコスト Security セキュリティ
宣伝効果大
株式会社 城東
代表取締役 奥野忠正
本社 / 〒934-0042 富山県射水市作道591 TEL 0766-84-2030
富山営業所 / 〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間町2丁目1番 TEL 03-3863-8630

見える化とは

クオリティマネジメント2008年3月号に、『見える化とは企業活動のさまざまなものを見えるようにする取り組みで、問題の発見・実態の直視・共通認識の醸成・知恵の創出・取り組み結果の検証など一連のサイクルを回し続けることが見える化の本来の目的である。経営から現場に至るまで悪いことからよいことまで必要な情報が必要なタイミングで見える状況になっていれば、それによって必要なアクションが適切にかつ迅速に実施することができる。経営思想として見える化組織の隅々に定着していることにより、企業の問題解決能力を高め、問題解決を加速させることができる』という趣旨の記事がある。

5ゲン主義とトヨタの現場重視

品質管理で言われている5ゲン主義では、的確な現状把握が対策の始まりであり、また兵法に言う“敵を知れば百戦危やふからず”と同じようなことと

見えよう。見える化は総論的には当たり前のことでは反対する人はいないと思う

が、実際には個々の企業活動に於いて、さまざまなことが見えていないために起る問題は少なくはないのである。

「人を育てるトヨタの口ぐせ」という小冊子の1項目に、“マルを描いて立っている”というのがある。工場現場内で直径1メートルほどの円を書いて、30分くらい動かないで立って現場を観察していると問題点が見えてくるというものである。更に“おまえはあそこに行ったか、俺は行ってきたぞ”というものもあり、“トヨタはトップ自らが直ぐに現場に行く、現場大好きな率先垂範である”というのがある。何れも問題の在りどころを知り、状況が的確に見えるためには、人の話による判断や事務所の机上の空論を続けるのではなく、自分の眼で確認しなければ真実の把握ができないという現場重視の教えである。

樹脂業界における見える化

成形業界での見える化に関連して思うこととして。

(1) コンピュータの進歩がもたらした受注から販売までの広義の生産管理を行なう一貫したIT化システムにより、関係者がどこにいても生産管理状況を把握できる見える化されたものづくりが可能であるので、客先対応が迅速・的確となり、また技能・技術が共有・活用されることによりレベルアップが図られ、競合次代に勝ち抜く企業経営のための武器となる。射出成形ではコンピュータによって総合的に支援するさまざまなソフトが開発され、目的に合わせて見える化のために必要なシステムを選択して使用できるが、インターネット技術を利用して遠隔地の成形状況の把握や不良対策も可能となるなど、見える化のためのソフトの進歩は目覚ましいものであり、成形の合理化には欠かせない手段である。

(2) 工程不良発生のない安定した量産成形が継続されるために何が必要であるか

は、現状を把握してそこに潜む問題点に具体的にアクションを取らなければならないが、成形を業とするモルダも、顧客であるモルダと共存共栄するための安定成形できる材料供給責任のある樹脂メーカーも不良の真の原因である本丸には到達できていないため、発生した不良に対して姑息な対策でお茶を濁しているのが現実であると考えている。それは理論(定量的原則)と経験の総合力の問題であり、工程不良の実際の姿がよく見えていないためなのである。心ある中小企業の社長が、うちの成形現場に机を1週間置いて観察していれば何か問題かは直ぐにわかる筈であると言っていたことは、トヨタの口ぐせの教えに通じるものである。

(提供：プラスチックニュース社)

“見える化”の推進

優良企業視察研修会に参加して



株式会社タカギセイコー
開発技術部長 松島 純治

2008年4月25日(金) 富山県プラスチック工業会主催で石川県の優良企業2社の視察訪問を実施した。当日は天気が良く北陸自動車道から見える山裾に広がる緑の木々の中に山桜がほつほつと浮かび上がり、すがすがしい出発が出来た事がうれしかった。

株式会社ソディックプラスチック加賀本社工場視察

高精度なプラスチック成形を可能にしたプラスチック成形機の販売(元はワイヤ/放電加工機メーカーであるソディックが全額出資)で売り上げを伸ばしている企業で、当社(私の会社)も数十台の成形機を購入して精密部品の成形を展開している。特徴的には樹脂練り込み部のスクリー部のシリンダと樹脂計量して押し出す射出フランジ部に分かれたVライン式の射出成形機で小型高精度部品を成形できる装置を得意としている。変わった成形機として液状シリコン専用成形機・マグネシウム合金対応の成形機や更に変った機械としてXYリニア可動ステージ装置などの特徴を持った機械を製作している企業である。

先ず最初に工場ならびに本社玄関が綺麗な企業であることは、働いている人も頑張っていると言う雰囲気も伝わってきた。それに加えて収益も出している企業である。

バスの遅れで視察時間が無く早足の見学となったがいろんな成形機が見られて良かった。

高松機械工業株式会社工場視察

コンピュータ制御によるミクロン単位の加工精度を誇るCNC旋盤機の生産を主流にした機械メーカー



株式会社ソディックプラスチック加賀本社工場

で売り上げ;約160億円・経常利益;約11億円を出している。

近年は常に経常利益を5~10%の範囲で創出している優良企業であり、見学を期待して本社工場に入った。着いて始めに驚いた点がある、それは上下が明るいオレンジ色の作業服を全員が来て出迎えられたときである。見学後で社長さんから社員の燃える気持ちをモチベーションに全社一丸となって社業に取り組むため、オレンジ色をシンボルカラーにしたことを説明を受けて少し落ち着いた。(感銘したかな!)

工場内を見学させてもらった機械を組み立てている工場としては全体が整然としており、ゴミ・ホコリが少なく5S活動が徹底している事と、合せ天井に吸気専用の塵埃吸込み専用設備を完備して、綺麗な環境を会社として提供して働きやすい仕事場になっている所はプラスチック企業も見習うべき点である。今回、私たちはプラスチック工業会として参加したので組み立てられている機械に使用される部品も気に入り、見学中にいろいろと部品の使用材料をチェックさせてもらった。結果は、殆どがダイカスト・板金仕様の物(購入比率60%)で、外装カバー類も板金曲げに溶接と仕上げ+塗装仕上げの部品であった為、質問したら社長さんから耐油性・小ロットでも安く入手できる樹脂材を提案してもらえれば検討しますとの回答が出た。

最後にあたり、ご多忙にもかかわらず、多くの皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。これからも当会技術委員会事業にご協力をお願い致します。



高松機械工業株式会社工場

「次世代経営研究会」 「自社の健康(経営)診断分析セミナー」 に参加して

株式会社リッチェル
マイクロチップ開発室
マイクロチップ営業課長 堀田 裕二



第10回研究会 (6月21日於:高岡テクノドーム研修室)

講師 (社) 日本経営士会中部支部 近藤 肇氏

はじめに

若手の幹部、管理職社員が経営者としての感覚を養うことを目的とした講座や企業視察会を開催しています。

【経営診断手法を学ぶ】

会社を人の身体に例え、60のチェック項目に答えると、あたかも健康診断を受けるように、財務分析にとどまらず、顧客満足に対する姿勢、人材育成や職場環境など、いくつもの観点から、自社の強みと弱みを客観的に確認できる手法を学びました。

【自社の診断結果・強みと弱みを自覚】

後日、詳細な診断結果が送られてきたのですが、自分のことほど判っていないように、自社の意外な強みと弱みが露呈された結果に、多少の驚きを感じました。

他の参加者も改めて自覚することがあったのではと思います。

【最後に】

「次世代経営研究会」は3年目になりますが、普段は聞く機会のない経営者トップの講演や、企業の視察、経営全般に渡るセミナーなど、貴重な体験をさせてもらっています。

参加者も自己啓発に積極的で前向きな方ばかりで、多くのものを吸収しようと、真剣に取り組んでいます。

今後も貴重な体験と知識習得により、経営という大きな視点で物事を判断できるよう、スキルアップしたいと考えています。



診断手法を学ぶ

「自社の経営診断分析セミナー」を実施して

(社) 日本経営士会 中部支部 近藤 肇氏

去る6月21日(土)高岡テクノドームにて参加者26名(15社)の皆さんとともに、約3時間に亘り自社の経営状態を採点していただきました。

国内外の激変する経済状態を如何にして対応するかは偏に参加者の現状認識にかかっています。

今回のセミナーでは経営に必要な60項目のチェックリストにより総合判断および要素別の評価を出し、改善に役立てるものです。「わが社の強みと弱み」を浮き彫りにすることにより自社の状況が見えてきたとの意見も多数あり、対策も具体化できたとの声もありました。全員が長時間のセミナーに対して真剣に取り組んで自社の経営改善に役立てようとする意欲が伝わってきて「講師」としましても十分に納得のいくセミナーでした。

参加者に経営診断書を7月中旬に送付しました!!



研修講習事業報告

レベルアップ研修会

と き:平成20年4月4日~21日
と ころ:ポリテクセンター富山
初心者向け射出成形・金型・電気制御を
参加企業11社30名が研修しました



県外優良企業見学会

と き:平成20年4月25日
と ころ:ソディックプラステック加賀本社
高松機械工業株式会社・工場
参加者30名

射出成形研究会

と き:平成20年4月30日
と ころ:富山工業技術センター
講 師:林 盛彦氏
最近の成形技能検定の動向と今後の
方向性について

と き:平成20年6月27日
と ころ:富山工業技術センター
と き:平成20年7月19日
と ころ:ポリテクセンター富山
講 師:林 盛彦氏
114名参加

理事会・優良従業員表彰・健康講演会

と き:平成20年5月9日
と ころ:富山第一ホテル
内容は会報記事をご参照下さい

通常総会・記念講演会・懇親会

と き:平成20年6月4日
と ころ:富山第一ホテル
内容は会報記事をご参照下さい

射出成形実技講習会

と き:平成20年5月14日~6月28日
と ころ:ポリテクセンター富山
144名参加にて38日間にわたって実施



次世代経営研究会

と き:平成20年6月21日
と ころ:高岡テクノドーム2階研修室
講 座:「自社の健康(経営)診断分析セミナー」
(社)日本経営士会中部支部
近藤 肇氏

会報編集委員会

と き:平成20年7月1日
と ころ:とやま自遊館
2008年夏号編集内容について

懇親ボウリング大会

と き:平成20年7月6日
と ころ:クアトロブーム小杉店
内容は会報記事をご参照下さい

人材育成座談会

と き:平成20年7月18日
と ころ:富山共生センターサンフォルテ
コーディネータ:中小企業診断士
羽田野 正博氏

産学連携推進検討会

と き:平成20年4月15日、6月17日
と ころ:富山技術交流センター
参加者:技術委員・工業技術センター

と き:平成20年6月26日
と ころ:富山県立大学地域連携センター
参加者:技術委員・工業技術センター・県立大

射出成形学科講習会

と き:平成20年7月19日
と ころ:ポリテクセンター富山
講 師:林 盛彦氏
113名参加

「1級射出成形技能士受験」

「1級技能士を受験する？」と上司から打診され「ハイ！やってみます」と軽く返事をしました。最近、現場のことで手がいっぱい、勉強からはなれている時間が続いていた。「何かしなくては」と思っていたので、渡りに船！イゼ！予備講習へ。先生からのアドバイスがまた的確で、予備講習後いろいろメモをしていると、「この試験は条件を覚える試験ではなく、成形の基本が出来てさらに1級の技能があるかの試験だよ」との言葉、技能士の心構えを再確認しました。また機会がありましたら、速える子羊にご指導よろしくお願ひします。ありがとうございました。
三光合成株式会社 富山工場 川合一彦



プラスチック業界人材確保と育成に向けて

当業界を覆う景気減速、原材料高騰等、経営環境の中で人財としての、人材確保と変革に対応できる人材育成について、業界企業の現状と考え方について座談会を開催しました。出席は当会総務委員会正副委員長5名とコーディネーターとして中小企業診断士 羽田野正博氏で、現状と課題、取り組みについて率直な意見交換を行った。

技術系人材確保が困難、再雇用制度の状況は

羽田野 業界各社での人材確保の現状について伺いたい。

松本 希望する工業高校からの採用は困難な状況であり、技術系、金型系は中途採用として即戦力のUターン者採用を方針としているが社員の高齢化が進んでいる。

問題は給与のギャップであり、採用を見送らざるを得ないケースも出ている。

高野 海外技術指導者要員や塗装技能、金型メンテ等での人材確保が必要であるが、その分野での中途採用や大卒技術系の確保は容易でない。平均年齢が高まり高齢化への対応と、適材適所の調整の兼ね合いという課題がある。

門前 技術開発、製品設計、品質保証部門の人材確保を方針として、現業職も含め今年グループ全体で21名採用したが、技術系の新卒確保が予定通りいかなかった。

定年・再雇用者が増えつつあり、技能・技術の伝承も進められている。

管理職候補者は人材不足で、年代層別に人材がバラ

ついている。

高齢化しつつあり、高年齢者・継続雇用者も増えている。若い人材、特に設計者・エンジニアが不足しているが、大卒技術系や工業高校からの新卒確保が難しい状況にある。

現場技能者は新卒が理想だが定着しない傾向があり、現場を強くしていくためには、技能不足を中途採用で補いたい。

喜多 当社松戸工場では、再雇用者が4人いて、いずれも65歳を超えている。

都会地では人材確保がむずかしい。会社全体でも人材不足気味で幹部級と課長級で年代の開きが大きく、業務運営がむずかしい面が出てきている。

採用の方針・留意点と、効果的な採用方法とは

羽田野 若い技術者が不足している状況で、採用の方針と工夫していることは。

喜多 当社は営業系については、大学新卒の採用を行っているが、技術系は中途採用で対処している。以前は、創業者の人的つながりと地域貢献という観点から、テニス競技者の紹介・採用が多かったが、現在は求人者とのタイミングが合わないなど、都度、苦勞している。

高野 元気な人材を採用・確保したいので、学生時代での社会的経験の有無という観点からアルバイト経験も重視している。

門前 学生時代でのクラブの部長経験者など、同期でリーダーシップを発揮できる人材がいる場合は、同世代の定着率も良い傾向が見られる。また、学生時代にアルバイトを経験した者は、現場のことをある程度知っているという点で良い。



富山県中小企業診断士協会
会長 羽田野 正博氏



株式会社リッチェル
総務人事部長 高野 修次氏

西村 平均年齢は高く



阪神化成工業株式会社
総務部長 門前 昌志氏

管理職人材確保と海外拠点での育成が課題

羽田野 適正人員面では特に技術職や管理職人材が不足していると聞く。中途採用は処遇面での差異など悩みもある。将来の管理職候補者の育成についてどうか。

喜多 現有人材の中間管理職からの登用、または、仕入れ先や化学大手は人材派遣部署を持っており、それらの企業からの人材受け入れも視野に入れている。

高野 海外拠点での管理職育成は言葉や定着面の問題が今でも解決しておらず、中国での現地化はむずかしい。

門前 現場の管理職候補者がうまく育たないのが悩みである。新規事業参画する為に、業界から専門知識をもった人材を招聘してうまく機能しているが、指導育成を含めた管理職の人材が不足している感がある。

女性リーダー・管理職の実情と登用体制整備へ

西村 学生の就職活動はネットを活用しており、自分の希望する業種、化学、プラスチックと検索して、企業見学している。当社もネット活用でのリクルートだが、今後共、情報化社会での求人方法を更に工夫していきたい。

羽田野 女性の戦力化も課題の一つ。女性の活用、女性のリーダー・管理職の育成についてはどうか？

西村 現状、引っ張っていけるような人材は少ないが、リーダー的な仕事にタッチさせながら育成していきたい。

松本 技能検定資格取得を奨励して現場管理職を育成していきたいと考えている。

女性が半数程度いるので女性管理職が必要であるが、現実問題として、女性は家事・育児などで時間を取られ、管理職などの責任ある役割を敬遠する傾向があるので、その辺を配慮しながら、女性の登用を前提とした仕組みで戦力化すべき時代になっている。

喜多 当社では現在、^{大岡}課長1名、^{常務取締役 喜多 進氏}係長3名、^{班長2}名

の女性役職者がいるが、現業では女性係長が体育会系で元気のある人でリーダーシップを発揮して、現場をまとめてくれている。

女性管理職を敬遠しがちな風潮の中では、仕事に熱中できる人、リーダーシップを持った人を会社も支援・育成する気配りが必要。

高野 当社では60名の管理者の内、3名の女性課長がいる。積極的に管理者登用を進めている。

業務に見合う人材育成と技能伝承への取り組み

羽田野 人材の育成の方針・考え方について伺いたい。

喜多 当社では、部署や管理職者によって、部

TAKAGI SEIKO
革新を続けるプラスチック創造企業
株式会社 タカギセイコー
代表取締役社長 笠井 千秋
本社/富山県高岡市二塚322-3 ☎(0766)24-5522代

TOYOKAKO
優れた技術と確かな品質でお応えします。
東洋化工株式会社
取締役社長 中田 守人
〒936-0857 滑川市下梅沢1350番地
TEL (076) 475-2125 FAX (076) 475-9471



三光合成株式会社 総務部次長 西村 啓信氏

下の育成に差異があるのが現状である。

OJT教育のバラツキや限界をoff-JT教育でカバーしている。

西村 継続雇用者は成形、金型等の技能を積極的に伝承することも役割だと認識してもらう。育成にあたり、成形などの公的資格取得を奨励しているが、公的資格の無い業務については社内資格を作って対処している。なかなか高いハードルにチャレンジしたがる傾向があるので、公的資格より、少しハードルを低くして、取り組ませている。

門前 営業の育成はうまくいっている方だと思う。また、製造・技術系には射出成形・ブロー成形・機械加工・旋盤等の技能士資格取得を促し、育成に繋げている。

現場では顧客（製薬会社が主）についての勉強会をやって知識の習得に努めている。また、顧客からの作業手順などの定期的な査察があり、外注先にも指導を行っている。

羽田野 現場における技能伝承の状況について伺いたい。

門前 再雇用者から金型の設計や保守について30代の社員へ継承している。

高野 当社では、自社ブランド品とOEM事業品がある。自社ブランド品は多少歴史があるが、OEM事業品は育成に苦慮している。ISO9000のシステム（力量マップ）などを使いながらOJTでの育成を実施中である。

松本 資格取得推進の結果、特級技能者が初めて誕生した。本人には不良対策を通じて育成を図っ

た。しかし、残念ながら、その後が続いていない。

金型部門では多能工化の推進を図っているが、思うようにいっていないので、人員面で多少、余裕を持たせて推進したい。

経営の求める人材と、海外展開人材育成の実情

羽田野 グローバル化、海外展開の中で経営方針に基づく（経営）人材育成とは。

喜多 将来、経営者が交替した場合の経営方針について、若手社員の登用を考えると40代に人材が少ないので30代を中心に会社を盛り上げて、経営人材の発掘と育成を図っている。

西村 海外を経験した人或いは海外に見識がある人が海外とのパイプを強くしながら優秀な人材を育成して、結果的に国内人材の底上げを図ることになる。

門前 原料高騰など、業界を取り巻く激動の時代に対応できる人材が必要であり、顧客が求めるものをいかに応えていくか、30代の管理職候補の人材育成に重点を置いている。また、自助努力の観点から通信教育にも力を入れている。



株式会社 井製作所 取締役総務部長 松本 哲保氏

高野 トップはスピード経営を推進しており、海外での複数の販売会社を短期で立ち上げてきているが、人事面で追いつかない。外国語のマスターや営業におけるマーケティング能力などの人材育成に時間を掛けにくい状況である。

松本 タイに合弁工場があるが、工場長として

代わりに行かせる人材がいない、国の制度として、海外に行かせる人材養成機関があれば良い。

まとめ

羽田野 率直かつ貴重なお話に感謝したい。必要

な人材の確保・育成は常に課題。限られた人的資源の有効活用であり、対症療法ではなく、長期的視点での投資になる。まとめて管理・育成ではなく、個別で管理・育成が必要。企業（組織）の成長と個人（人間）の幸せの実現に向け、パートナーとしての信頼関係をつくる。そのため、社員一人ひとりのキャリア開発・キャリア形成支援の仕組みを各社の実情・経営戦略に応じて作っていただきたい。



地球環境創造 TOYOX 株式会社トヨックス

〒938-8585 富山県黒部市前沢4371
TEL 0765-52-3131 FAX 0765-52-4245
<http://www.toyox.co.jp>

阪神化成工業株式会社

〒939-8183 富山県小中163番地
TEL(076)429-1865代
FAX(076)429-6042
URL <http://www.hansin.co.jp/>

18名が優良従業員表彰を受ける

富山県プラスチック工業会優良従業員表彰式が5月9日（水）、富山第一ホテルで開催され、会員企業社員18名が受賞した。誠におめでとうございます。

表彰式では齊藤副会長より永年に渡る貢献へのねぎらいと今後の活躍への激励挨拶のあと、来賓を代表して富山県新世紀産業機構 宮本孝専務理事よりお祝いの言葉とプラスチック業界が県産業界に果たす役割と発展を期待する祝辞があった。

表彰式終了後、健康講演会が開催され、笠井会長から開会挨拶の後、富山大学和漢医薬総合研究所の清水所長による「和漢薬と健康～健康やかに美しく生きるために～」の演題で1時間にわたり講演があり熱心に聴講した。



笠井会長より表彰状授与

優良従業員受表彰者

氏名	企業名
高松 誠	株式会社 藤井製作所
小森 志津子	五栄化学工業株式会社
田畑 弘二	三協化成株式会社
高野 一彦	三光合成株式会社
七山 修一	〃
平田 隆志	〃
岡田 哲朗	株式会社 タカギセイコー
林 宗則	〃
江口 京子	テクノプラス株式会社
竹田 一吉	株式会社 富山技研
幅田 春治	〃
大坪 欣治	株式会社 トヨックス
金沢 利幹	〃
浦本 節子	ファインプラス株式会社
桶垣 峰子	株式会社 リッチェル
瀧水 英昭	〃
牧野 律子	阪神化成工業株式会社
門前 昌志	〃

《懇親ボウリング大会 結果》

平成20年7月6日（日） クアトロブーム小杉
（参加企業 20社 参加人数 130名）

団体の部（1チーム5名 計10ゲーム）

	チーム名	企業名
優勝	株式会社 マスオカ	株式会社 マスオカ
準優勝	T.S HiMi	株式会社 タカギセイコー 水見工場
3位	team MN	三光合成株式会社
4位	チームOK	高陵プラスチック工業株式会社
5位	シロウマニューGirl2008	シロウマサイエンス株式会社



団体の部優勝 株式会社 マスオカチーム

個人の部（2ゲーム）

	チーム名	企業名
優勝	安土 智暁	藤沢電工株式会社
準優勝	今村 彰男	高岡明光化成株式会社
3位	長谷 寿昭	株式会社 マスオカ
4位	大門 晋	株式会社 マスオカ
5位	能登 美紀子	シロウマサイエンス株式会社



個人の部優勝 藤沢電工株式会社 安土 智暁さん

富山県工業技術センター
樹脂溶融混練押出装置導入と関連技術講習会のお知らせ



樹脂溶融混練押出装置

【装置の概要】

プラスチックとフィラーや異種プラスチック等を混練するための装置です。温度、圧力、トルクを制御しながら、混練物の溶融混練特性や挙動を定量的に評価するとともに、高シェア状態で溶融混練物を作製することができます。

【用途および活用例】

プラスチック中に、ナノ粒子を理想的に分散させたり、有機材料を多種多様に複合させることにより、ナノコンポジット、樹脂リサイクル、樹脂複合材料等の研究開発に利用することができます。

ナノコンポジットによる試作例



ホイールカバー

ナノコンポジットの自動車部品への採用例



エンジンカバー



タイミングベルトカバー

技術講習会

近年大きな技術の潮流として、IT、バイオ、環境、ロボット技術と並んで、ナノテクノロジーが大きく取り上げられ、各分野において、盛んに研究が行われ成果が発表されています。

ポリマー材料の分野においても、特に近年フィラーにおいては、益々微粒子化が進みナノオーダーの粒子材料を凝集させることなくポリマーに均一に分散させることにより、これまでに得られなかった新たな機能性の発現や機械的、熱的性質等の基本的性能の向上が認められ、複合材料は、ナノコンポジット化へと進んでおり、21世紀の材料として大きな期待が寄せられています。

当講習会では、ポリマー系ナノコンポジットの製造方法で、操作性が容易で低コストであることから、最近多く用いられている直接分散方法と層間挿入型ナノコンポジットで用いられる溶融混練法にスポットを当てて、1) それらの製造方法において必要な諸条件とは何か、2) これらナノコンポジットの材料開発の支援ツールとなる「樹脂溶融混練押出装置」を紹介いたします。

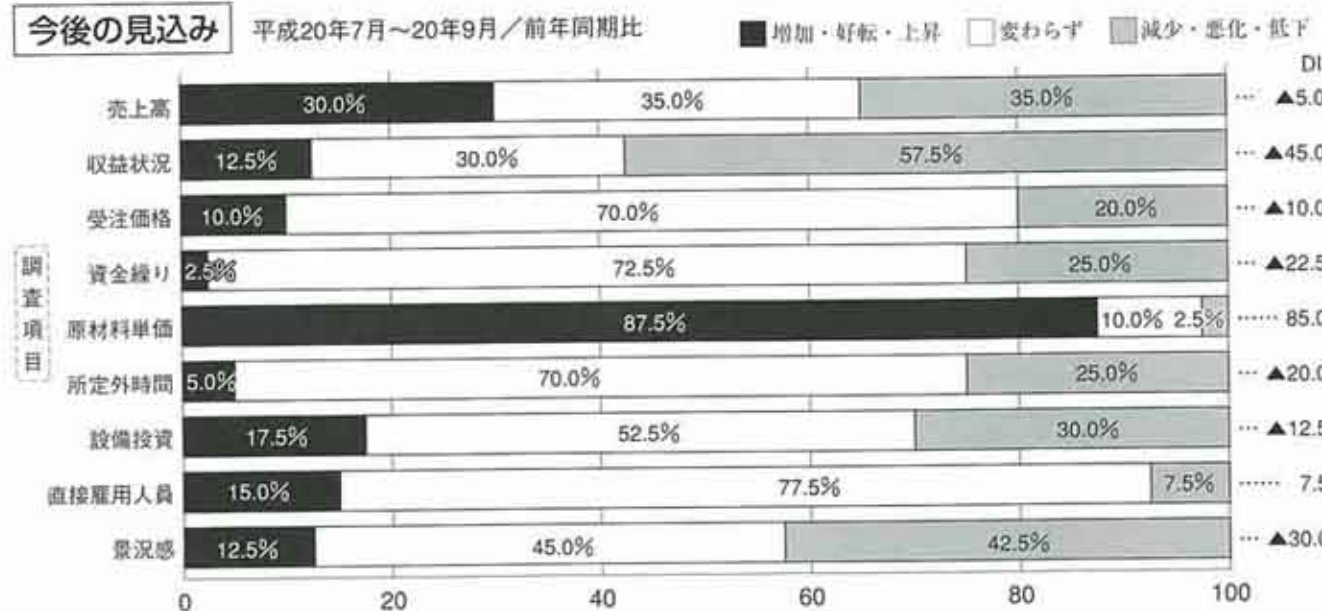
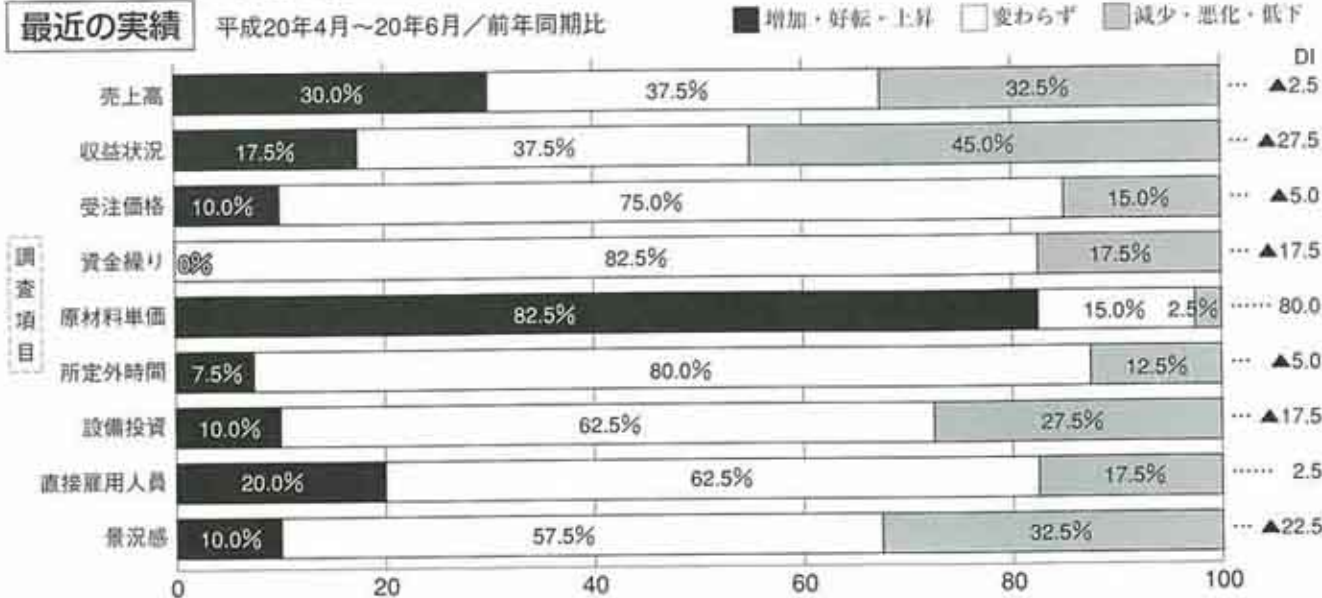
1. 期 日：平成20年10月上旬（現在日程調整中）
2. 場 所：富山県工業技術センター 中央研究所 技術開発館
3. テーマ：「樹脂の溶融混練技術について」（仮称）
4. お問い合わせ：富山県工業技術センター 中央研究所 材料技術課 住岡まで

TEL 0766-21-2121 / FAX 0766-21-2402 E-Mail:sumioka@ite.pref.toyama.jp

景況調査

原材料高騰、収益減少で景況感悪化

調査：会員企業40社回答



経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	平成19年12月 (前回)	平成20年7月 (今回)	前回比増減
原材料高騰	31.2	34.9	3.7
収益減少	20.2	22.0	1.8
受注量の減少	15.6	16.5	0.9
技能・技術者不足	11.9	8.3	-3.6
新商品・新技術開発遅れ	5.5	7.3	1.8
設備投資遅れ	1.8	3.7	1.9
過当競争激化	6.4	3.7	-2.7
受注単価の切り下げ	5.5	2.8	-2.7
資金調達面	1.8	0.9	-0.9

共創

「母校に感謝」 今号の「人材確保と定着と育成」座談会でも少し触れましたが、母校の高校より「専門技術者等特別講師招聘事業」の一環で、私事、今年で4年連続講師の依頼があり、卒業して3～4年の若手社員と二人で講演に行きます。事業の名称は固苦しいものですが、内容はいたって簡単、「先輩として会社の仕事とは…」を語るのですが、現役高校3年生に固苦しい話をしても睡魔を誘うだけで、私はいつも自分の在学中の思い出話から始めます。幸い、生徒は私の子供と同じ位ですので、育った時間も私が子育てした時代と同じということで、親の学生時代はどんな様子だったかを、わかってもらうことから始めるわけです。

さて、私の高校時代、昭和50年頃の学生服は、現在のブレザーとは違い、男子は詰襟の黒の学生服、女子はセーラー服でした。伝統ある実業高校でしたので、部活動に対する思い入れが強く、3年間授業で学んだことより、部活動の思い出ばかりです。夜8～9時までみっちり練習。帰りは最終電車でギリギリで駅まで必死に走ったことも思い出します。特に熱心な部でしたので宿舎もあり、文化部とはいえ、

精神鍛錬だけでなく、体を鍛える為のランニングもかかせませんでした。こんなことから、自分の子供が部活動や生徒会活動で遅く帰ってきても、あまりやきもきすることなく接してきたと思います。むしろ、精根尽きてクタクタになって帰ってくる子供が、可愛いとさえ思えました。

授業では個人の履修が中心であり、集団生活の大切さは教えてもらえません。一方、部活動では、顧問教諭、コーチ、先輩のマンツーマンの指導で、個人の技量アップはもちろん、集団で目標達成のためにお互い切磋琢磨することも教えて頂き、人間形成はこの時に培われるといっても過言ではないと思います。

今、企業をとりまく社会経済の環境は激動期に入ったと言えないでしょうか。企業において向かうべき方向性を誤らず、目標を達成しなければなりません。企業全体、グループ単位、個人単位、その向かうべき方向性が明確であればあるほど、自分は今何をしなければならないかが、わかるのではないのでしょうか。

総務委員会副委員長 門前 昌志

編集後記 原材料高騰への悲鳴

成形各社の意見アンケートでは原材料高騰が終息しない現状に、政府行政の業界救済策を求める悲鳴ともいえる意見が目立つ。しかしながら、当会が会員として加盟している全国工業会連合会の主たる事業は行政とタイアップしての技能資格向上推進であるように、このような事態に対処するような全国団体は無いに等しいのが実態である。

現状は第1次、第2次オイルショックを超えるナフサ価格の値上がりと転嫁が困難な現状に慄然とするが、それでも、一歩、前へ出るしかない。

新聞紙上には当会会員企業製品紹介が、よく掲載されて心強い思いをしているが、それら製品分野は概ね、健康と医療、制御とロボット、環境と省エネ

軽量化などである。ペットボトル新規生産の記事もあったが、健康志向への需要増大と軽量メリットによる環境負荷軽減に貢献する容器需要増を見込むものかと思われる。激変の時代ではあるが先を見る目を養いたい。

事務局 谷村

〈編集委員会〉

- 総務委員長 高野 修次 (株)リッチェル
- 副委員長 門前 昌志 (阪神化成工業株)
- ◆ 喜多 進 (株)大樹
- ◆ 松本 哲保 (株)碓井製作所
- ◆ 西村 源信 (三光合成株)



未来への限らない挑戦
プラスチックの総合メーカー

ミユキ化成株式会社
代表取締役社長 延澤 泰明

〒939-0351 富山県射水市戸破針原53-14
TEL (0766) 56-9500 FAX (0766) 56-9495
URL : http://www.miyuki-kasei.co.jp/

Richell 暮らしに笑顔を咲かせます。

株式会社リッチェル
富山市水橋桜木136 〒939-0592
TEL (076) 478-2250 http://www.richell.co.jp/

プラスチック家庭用品・園芸用品・ペット用品・ベビー用品・工業用品・環境用品・介護用品・エクステリア用品・工業用品・マイクロチップ・ソーラー製品等の製造販売

広告料は、企業名の50音順で掲載しています。